

石膏型技術研究会

支援先

県内製陶業等

【目的】



図 1 技術交流の様子

笠間焼の強みである伝統的な工芸技術を継承しつつ、窯元・作家が持つ現代性（造形力やデザイン性）を加味した製品づくりを石膏型技術を通し支援しています。当校が保有する石膏設備・技術指導のほか先進的な技術などについて外部講師を招聘した勉強会を行い、産地ブランド力向上につながる会員の新製品の開発を支援しています。

【内容】

会員企業数：22 社 開催状況：下表のとおり 4 回の研究会を開催しました。

表 1 日程と概要

回	日程	概要	参加企業
1	6 月 8 日	次世代 3DCAD 体験 第 1 回デジタルものづくり研究会に参加し、セミナーを受講	2 社
2	8 月 25 日	次世代 3DCAD 体験 第 2 回デジタルものづくり研究会に参加し、セミナーを受講	2 社
3	9 月 28 日	石膏原型づくり講座 型職人の監修・指導を受けながら発砲ウレタン材を使い、図面通りの原型を仕上げる技術を習得	8 社
4	1 月 16 日	石膏型造形講座 他社にないオンリーワンの製品作りに必要な発想力・アイデア力を磨くために参加型ワークショップを実施	6 社



図 2 3DCAD 受講の様子



図 3 原型づくり講座の様子



図 4 石膏型造形講座の様子

【今後の予定】

従来の笠間焼ではロクロ成形・タタラ成形による日用食器・生活雑貨をおもに生産していますが、将来的に人口減少などに伴う市場の縮小が予想される一方、優れた工芸品は国内外の現代生活陶芸品として新しい価値と注目を集めつつあります。こうした新しい価値を持った商品開発につながるよう来年度も勉強会や交流会を積極的に行います。

基礎となった事業

平成 29 年度 オンリーワン技術開発支援事業（研究会）

現在の担当部門

人材育成部門

部門長

尾形 尚子

TEL:029-293-7212

主任研究員

常世田 茂